

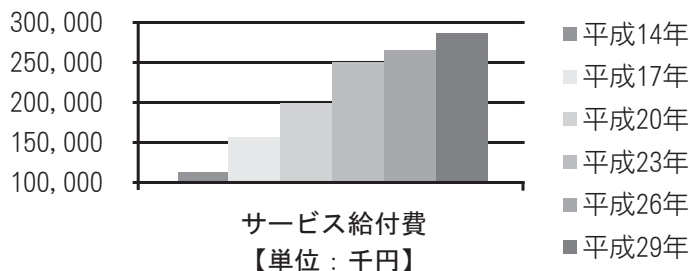
第7期（平成30～32年度） 介護保険事業計画について②

藤里町の第7期介護保険事業計画の内容について、4月号では主に保険料についてお知らせしましたが、今月号では各種介護サービスについて、これまでの傾向と今後の見込みについてお知らせします。

今回お知らせする数値は、第1～6期の介護保険事業計画の各最終年度の実績値ですが、平成29年度は実績見込み、平成32年度は計画値です。

【居宅サービス】

デイサービスや訪問介護などの居宅サービス費用は、平成14年と平成29年の比較で約2.5倍となっています。



◎延べ利用者数＝各月ごとの利用者数の12ヶ月を積み上げ
◎サービス給付費＝費用額から利用者負担分（1割及び2割）を除いたもの

この内、通所介護（デイサービス）は、利用定員18人以下の通所介護が平成28年度から地域密着型に移行したことやショートステイなど他サービスの利用が増えたことにより、年間の延べ利用者数は減少傾向にあり、今後も減少していくと見込んでいます。

また、訪問介護（生活援助など）や福祉用具貸与（レンタル）は、在宅で介護を受けられる方の利用頻度が高く、訪問介護は増加傾向にありましたが減少してきています。福祉用具貸与については、平成23年度に急増したが、それ以降は減少しており、今後も減少していくと見込んでいます。

ショートステイ利用者は横ばいで推移していましたが、要介護認定者の重度化などに伴って、増加傾向になっており、今後も増加の利用を見込んでいます。

